

アジアの民族運動

名前 _____

_____ 月 _____ 日

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

今日の問い

大戦後、アジアの人々は支配に対してどのように声をあげたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 朝鮮と中国の運動

三・一と五・四

- ① 1919年、朝鮮で起こった独立を求める運動。

- ② 1919年、中国で起こった反日・反帝国主義の運動。

民族自決の考えは、日本の支配を受けていた朝鮮の人々にも希望をあたえた。1919年3月1日、京城(今のソウル)で独立宣言が発表され、人々が「独立万歳」をさげんでデモ行進を行った。運動は朝鮮全土に広がり、¹ _____ とよばれる。日本は軍隊や警察の力でこれをおさえたが、のちに支配のやり方を一部改めた。この運動は、朝鮮の人々の民族意識の強さを示す出来事となった。

中国では、ベルサイユ条約で山東省のドイツの権益が日本にゆずられることになった。これに対して1919年5月4日、北京の学生たちが抗議のデモを行い、日本の商品を買わない運動などが全国に広がった(² _____)。中国政府はこの条約の調印を拒否した。同じ1919年、孫文は中国国民党を結成し、国内の統一と民族の独立をめざした。

地域	運動	主な相手
朝鮮	¹ _____	日本の植民地支配
中国	² _____	日本の権益の引きつぎ

2 インドやトルコの動き

ガンディー・トルコ

- ③ インドで非暴力の抵抗を指導した人物。

- ⑤ 1923年、ケマルらがつくった新しい国。

大戦中、イギリスは植民地のインドに戦争への協力を求め、戦後の自治を約束した。しかし戦後も約束が十分に守られなかったため、インドでは独立を求める運動が高まった。指導者の³ _____ は、暴力を使わず、イギリスの支配に協力しない⁴ _____ の運動をよびかけ、多くの人々が参加した。イギリスはこの運動に強い圧力をかけたが、独立を求める声はおさまらなかった。

西アジアでは、大戦で敗れたオスマン帝国が連合国に領土を奪われそうになった。ムスタファ・ケマルらが抵抗して連合国と戦い、帝国を廃止して1923年に⁵ _____ をつくった。東南アジアなどでも、民族の独立を求める動きが少しずつ強まっていった。大戦後のアジアでは、民族の自立をめざす運動が各地で広がっていったのである。

できた / 5